

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-200）」

2. 日時：令和4年12月16日（木） 13時30分～15時20分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任

安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官

日本原燃株式会社 再処理事業部 副部長（設工認） 他11名

東京電力ホールディングス株式会社

サイクル技術グループ グループマネージャー 他1名

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループリーダー他1名

電源開発株式会社 原子力技術部 原子燃料室 上席課長

東北電力株式会社 原子力部 原子力技術 担当

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 令和4年12月9日
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年8月30日
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁深見です。それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始します。
0:00:10	本日のヒアリングは、令和2年12月24日に申請があった設工認申請について、12月9日提出の資料をもとにヒアリングを行う。
0:00:21	ます。まず規制庁側の出席者は、
0:00:24	本庁からコサクタジリハバサキキシノカミデ。
0:00:32	WE Bからフジワラ効果です。それでは日本原燃から出席者の紹介と、
0:00:39	議題等について、まず説明してください。
0:00:53	日本原燃中浜です。
0:00:55	原燃側の参加者ですけれども、石原佐川氏の吉田本木石橋。
0:01:04	六ヶ所からセガワフジノ、富樫長谷宮元ナカハマ以上となります。
0:01:14	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、
0:01:20	配信期限の07、
0:01:23	阪神館野01。
0:01:25	耐震期限の273件の補足説明資料となります。
0:01:31	それでは説明開始いたします。
0:01:37	はい。規制庁深見です。当間付で27からだと思ってたんですけど。
0:01:42	議員ですか。はい。日本原燃星野です。耐震規定27の方から始めさせていただければと思います。
0:01:50	耐震基準27、デビジョン3、令和4年12月9日に提出した設計プロセスの条件設定及び計算式の設定に関する補足について、変更点についてご説明いたします。
0:02:03	デビジョン3の修正としましては、設計プロセスの内容をもともと書いておったんですが、左側の方にですね、機器の耐震計算書の作成の基本方針に、
0:02:16	対しての、日本原燃として計算書の中身を確認してる。
0:02:22	内容についてご説明する内容に変更させていただいております。
0:02:28	あと、
0:02:31	電氣的機能維持の確認のところですけども、新たに耐震気税24を、補足説明資料として出させていただきましたので、本則説明資料からは削除させていただいております。
0:02:47	ページでいきますと、す。
0:02:50	3ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:54	はい。
0:02:59	別に気にせず、
0:03:02	3 ページの方は記載内容について説明の内容をですね、後ろに合わせて本文の中身を修正させていただいております。
0:03:13	本質的な中身の修正ですけども、ページが、
0:03:18	ページが手元のものでなくてですね、右方で、添付 1 の
0:03:25	16 分の 4 ページ。
0:03:35	どうぞ。はい。
0:03:47	はい。失礼しました。
0:03:49	はい。この 16 分の 4 ページの方から左の方にですね、耐震設計のプロセスの詳細から記載した上で、右側の方にですね、モデルの設定の考え方ですとか、我々がどのように確認しているかということ、説明させていただいております。
0:04:06	我々のちょっと悩みというかですね
0:04:11	なんですけど確認してる内容ですね文章だけで説明するにはちょっと説明しきれない面もありますので、そういった面については今日、
0:04:21	実際に耐震計算の
0:04:23	確認をしたエビデンスをちょっと持参して、面着でちょっとそれをご覧いただきながら、この説明の中にですね、こういったものを拡充したらいいかということ、少しお話しさせていただければと思います。
0:04:38	はい。
0:04:39	そっちを資料の説明としては簡単ですが、以上になります。
0:04:43	はい。
0:04:45	長カミデさん、
0:04:47	まだ悩んでる中の資料。
0:04:52	まず資料の最初の方からちょっと、
0:04:58	聞いていこうとは思いますが、
0:05:02	まず 3 ページで、
0:05:05	二つ目のパラな本資料です。示す内容についてはというところで、
0:05:10	何か管理はまた別途整理ってなってるんですけど、これってどういう意図なんですかね。
0:05:19	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:21	週末やっていらっしゃいます。本資料で示す内容についてはすべて最初にボックスに対して適用するものとし、廃棄物管理施設については別途整理するものとするを書いてあるんですけど、
0:05:34	基本的には廃棄物管理の共通のものは当然使えるわけで、そういったものも含めて適用されると。ただ具体的な設備との関係は、廃棄物管理を申請した後にご説明させていただきますということでの趣旨でございます。
0:05:49	はい、長小峯様まずはわかりました。またその辺も、
0:05:52	まだ資料としては整ってないっていうか、
0:05:58	それでいうと、
0:06:01	これまではもう複数と再処理だけが一申請をした状態で、ヒアリング文ボックス数再処理と、
0:06:10	いうことでやってたのでこの部分は再処理いう施設及びMOX燃料加工施設に対してと書いてあったと。はい。いうこと。
0:06:19	と理解をしています。
0:06:21	ただ
0:06:22	一方じゃあ、今後、廃棄物管理施設を申請したときに、どうなのかっていうと当然適用できるわけで、
0:06:32	申請された上では別途整理するのではなくて、
0:06:38	ここの場で合わせた形にしますよっていうふうに書いていただければよかったんじゃないかなと思いますけど、意図はそういうことでもいいですか。はい。日本原燃星野です。
0:06:49	記載ぶりがちょ
0:06:50	なくて申し訳なかったですけども、今、コサクさんにお話いただいた通り、
0:06:55	廃棄物でも耐震計算書の中身の確認は一緒ですので、この資料を、廃棄物も含めて、
0:07:03	適用範囲とさせていただきたいと考えております。はい。コサクですよろしくお願ひしますで、おそらく他補足説明資料も全部、廃棄物管理については触れてない状態に、
0:07:14	なってたんだと思いますので、おそらくもうそろそろ、
0:07:19	申請準備をされて申請するつもりでいらっしゃると思いますので、それを踏まえて、補足説明資料、1月になっちゃうらしいんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:30	順次出されるということ等ですからその際にはそういったところも手当をした上で、
0:07:37	出していただければと思います。お願いします。
0:07:39	日本原燃星野です。おっしゃっていただいたように対応して参りたいと思います。
0:07:46	はい、規制庁カミデてあと3ページで、2ポツのところですけど、
0:07:54	下線引っ張ってあって実施項目について条件の設定と入力根拠の確認を
0:08:01	なってるんですけど、何でこれだけっていう感じがしていて、結果もうちゃんと確認してると。
0:08:11	どういう意図でこの記載になってるのかっていうのを説明して、
0:08:15	はい。
0:08:16	日本原燃、吉田です。
0:08:18	こちらですね、カミデさんがおっしゃる通り、結果についても我々確認をしております。
0:08:23	1として書かせてもらったのがこの、
0:08:26	条件の設定の仕方、あとは入力項目の確認の仕方というところで、その結果に対して確認しているところを言いたかったものですのでそれについてはこの記載削除ですね、ごめんなさい、古作ですけど。
0:08:37	今まで説明できてないのかわからないのかよくわからなくて、
0:08:42	僕らは条件設定と入力の根拠について説明したかったからこう書いたんです。
0:08:48	なんでそれだけの説明でいいと思ったんですかっていう質問をしてる。
0:08:54	はい。すいません。日本原燃、ここの文書ご指摘いただいて、そおっしゃられてる通り、計算結果までの確認ですので、
0:09:05	ここの本文としてはそこを含めた形での説明をすべきでね、結果だけでもなくて、はいコサクですけど、ここで書いてもらってるように、2ポツの3行目ね。
0:09:18	はい。設計プロセスの項目ごとによって言ってるんでしょ。はい。はい。
0:09:23	プロセス全部説明が必要なんですよ。
0:09:25	はい。
0:09:26	だから兄弟として、何で限定したのかっていうこのプロセス毎の説明についてとかでよかったわけじゃん。
0:09:33	はい。
0:09:34	スタッフ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:35	それを、ここだけでいいんだと思い込んでるからこういう文章になってんじゃない。
0:09:40	はい、おっしゃる通りだと思います。
0:09:42	ていうところを、古作ですけど、実
0:09:45	言われたとき認識をして、足りない分を拡充していきますと言ってくればよかったわけよ。はい、承知しました。はい。はい。
0:09:54	お願いします。
0:09:56	今野だけじゃなくて、元の対応前、皆さん含めて、
0:10:00	絶対そういう傾向があっては、この2年間のヒアリングも或いは許可の時からだけど、
0:10:05	自分がやってきたことを説明したいっていう思いだけでくるんだけど、僕らはそれ以外のことも聞きたくて、
0:10:12	やはり書いてないから質問しているので書いてることで説明しようとしても、違うんですよ。
0:10:17	はい。
0:10:18	なので、書いてあるのを説明すれば今日の0だと思わないように、
0:10:23	将来ました。はい。よろしくお願いします。はい。
0:10:27	はい。成長管理です。で、あと3ページで、あんまり本質的じゃないんですけど、一番下に
0:10:34	へー。
0:10:36	例外的に設定したっていうことになってますけど、
0:10:40	何ていうか何だろう、こういうね。
0:10:43	これが例外とも思えてはないんですけど、設計プロセスにいろいろ場合分けがありますよねと、枝葉がありますよね。
0:10:50	ているんだから、そこにこれは含まれているはずで、そこからさらに外れているかっていうとそうで。
0:10:59	基本的に何か例がいい。
0:11:03	枝葉を例外って扱うこともおかしいし、
0:11:07	なので、この辺はまだ整理がついてないのかな。
0:11:12	ですけど、こういうことにならないように、ちゃんと乗せてプロセスを全体をです、ちゃんと、
0:11:19	場合分けして書いていくというところ、よろしく。
0:11:21	お願いします。
0:11:22	はい。日本原燃星野です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:25	この表現のところですねちょっと社内でいろいろレビューしていた時に、この表現がいいのではないかという意見もあって、させて、
0:11:35	ちなみにそれを行ったのはどなたで、その意図は何ですか。
0:11:42	飴個人で言いましょう。
0:11:47	迫さん違います。
0:11:50	佐川さんに何言っているんですかっていう。
0:11:52	自分ただ、
0:11:54	宇田さんおっしゃった、これはないです。
0:11:58	最初はちょっと違う表現にしておったんですけども、一応、企画規格基準で決められたものの枠内で、ちょっと
0:12:07	イレギュラーに特別に設定してるものだったので、
0:12:12	ちょっと今の証券もわからない。
0:12:16	枠内の枠外なの。
0:12:18	減衰率、補足しません。日本原燃佐川です。補足しますと、枠内になります。枠内というところであって、これの後ろの方に書いてるんですけども、ちょっと
0:12:29	おつきに書かせていただくんで、枠内の中で動いてるっていうだけなんですよね。うん。そのことをしっかり書けばよかったんです。
0:12:38	自分がやってることを先ほど指摘あったようにやったことに対して、例外だよなみたいなこと言っちゃってるんで。うん。立ち位置が違う表現をしてるなっていうことになってるだけだと思います。
0:12:49	はい。以上です。
0:12:50	はい。貴重なレビューの話が自分で一番ですけど竜巻の37に多様な資料を出していて、ただいまのお願いのような話はないんですけど、さっきのタイプの話は、サトウで逃げてきて、
0:13:03	何かあったら、ある程度地域が末永高城と角田が言ったんです、全体が設計部に出さないとかって入力条件等って言ったりする中で、
0:13:13	初めからこっち迷ったら皆が何を聞いてもわからないので、収集されてる人がいるんだったら統一的な方針で提供していただけるようお願いします。以上です。
0:13:25	日本原燃星野です。ご指摘いただいた点資料のちょっと横並びというか確認の方の社内でしっかりするようにいたします。
0:13:36	この
0:13:37	例外の日本語の用語としての問題っていうだけにとらえられると困る。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:44	ですね、古作ですけども、
0:13:49	先ほど坂さんが言われたように、立ち位置が違うのがすごい問題だと思 ってて、
0:13:56	我々何で類型説明して欲しいかっていうと、それによって全体がどうい う評価をしているのかっていうことを枠としてとらえるためなんです よ。
0:14:07	はい。なんだけど、それを例外例外って言われちゃうとその枠から外れ ちゃうので、それを一つ一つ見に行かなきゃいけなくなるんですね。
0:14:16	その数だけ審査見ますよ。
0:14:20	ということなんです。
0:14:22	皆さんも補足説明資料いっぱい作らなきゃいけなくなるわけ。
0:14:27	それはお望みじゃないんだと思ってたので、
0:14:31	なので
0:14:33	第1回の部分についてはそれが読めるように、どういうふうに書けば、 今後のことも含めて、整理ができるのかっていうのを議論していたはず で、
0:14:43	なのに集大成のこのタイミングで例外と言われるのかと。
0:14:49	ということだから、誰が言ったんですかとお聞きしたくなったんです。
0:14:54	はい。別に、
0:14:59	管理官もよく言ってますけど、
0:15:01	社内での発言かもしれないけどそれは責任を持った発言だったら、ちゃ んと記録に残すと。
0:15:07	それぐらいの責任を持ってしゃべってくれていうことなんです。
0:15:12	表現にして、今回特にただ、作ってる側もまだ頭が綺麗に整理できてな い可能性があるのが、最初に定型式でもう何十個も試験ありますって言 って帰ってきたものを、
0:15:23	プロセスとして一緒だろうって一緒に、歩合までがその適用範囲なのか も含めてちゃんと書き下すんだよっていう話をして、整理してきたんで すけど、まだその
0:15:33	もともとの思いが抜けてないところがあるのかもしれない。そういう 意味で、どんどん例外を作ってしまうって、自分たちの箱を壊しにいくよ うな話をしてしまってるのかもしれないけどそれがざっと統一してみん な同じ考えでやらないといけないので、
0:15:46	そこはちゃんと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:48	認識はしてるよね。はい。
0:15:51	はい、古作です。
0:15:54	代表から違うものがあるよっていうのを例外というのではなくて、
0:15:59	うんちょっと代表とは違うけどっていうのも含めて、
0:16:03	含められる大きな幹にしたものが、
0:16:08	説明してる範囲。
0:16:10	それを超えるんだったら例外だけど、
0:16:12	その範囲内でケースバイケースで使ってるものはそれは枝葉なんです。
0:16:19	ちょっと三木と江田ってたから、ちょっとおかしいけど、気一本の記事なんです。
0:16:27	ていうその意識その類型として方針をな。
0:16:30	束ねるんだと。
0:16:32	ということで考えてください。その時にその枝葉っていうのがどういう場合はこの江田です。
0:16:38	芳賀小つきます。
0:16:40	いうことまで説明するのが評価方針とかであって、そうすると、結果の方は、そのどこを適用したのかっていうことがわかるように符号をつければいいと。
0:16:50	いうことになって非常に簡単な図書整備ができるよ。
0:16:55	ということなので、この後また具体を見せていただきながら話ができると思いますけど、
0:17:00	基本理念としてそういうものだということを改めて認識していただければと思います。
0:17:08	はい、日本原電、五島です。
0:17:11	今おっしゃっていただいた点について、認識を改めて、今後、資料の作成に当たって参りたいと思います。
0:17:21	はい。江藤監事です。
0:17:24	この後4ページ以降のお話をしようと思いますけど3ページまでのところで、他に規制庁側から何かあれば、
0:17:35	特になければ、添付1ですかね。ええ。
0:17:40	通しで言うと5、5ページから、
0:17:43	うちでいうと16分の1で、これは機器の耐震計算に関する基本方針というので
0:17:50	最初に出てくる方針ですね、で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:53	そのあと、
0:17:55	通しで言うと 15 ページになって、今度はその、
0:18:00	F E Mであるものの、計算書作成、
0:18:03	もし、
0:18:04	というのがまたこれもぶら下がってる。
0:18:07	あって、
0:18:09	なんですけど、
0:18:13	特に 15 ページ以降は計算式の出典だけ。
0:18:17	説明をされていて、
0:18:22	という感じで、
0:18:23	何でこういう構成なのかなと思ってるんですけど。
0:18:28	今、事業者として、
0:18:31	こういうふうに直そうとしてますっていうのが、もしあれば一旦聞いた上でこうじゃないのっていう話をしようかと思えますけど、今どんな感じですか。
0:18:45	念のためここだけですけど。
0:18:49	この資料が、そもそも最初つまみ食いになってるっていうところの問題点があるけど、それは全体を説明するものに変えますと。
0:18:59	いうことの中で、
0:19:01	対応できるものなのか、プラス、何か論点があるのかっていうところで多分後者なんだと思うんだけどそれもう一度伝えてもらっていい。
0:19:10	規制庁、亀井です。
0:19:14	何ていうか、割と答えっぽいこと言っちゃわなかなっていう気は。
0:19:19	しちゃうんですけど、
0:19:22	5 ページから上段の方針です。
0:19:27	これは
0:19:29	ここに今もう、
0:19:31	例えば、
0:19:33	9 ページ、2、8 ページもそうですけど参考ってなって、冷却塔でこう確認しましたってもう書きちゃって、
0:19:42	ですね、そうすると、後の役割がもうなくなっちゃう。
0:19:47	ということなんですけど、頭の方のページからの方は、
0:19:55	どういう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:56	チェックをするんだ、印象活動する、例えばだから、どういう書類を見る入力。
0:20:02	解析モデルにしても、
0:20:05	構造図と入力環境省、比較しますとか、
0:20:09	そういう、大枠として、別に
0:20:16	前段のやり方っていうんすかね。そこは
0:20:20	こういうプロセス豚のプロセスとしてはこういう管理をしていますというのが5ページからで、
0:20:27	実際に
0:20:30	そのあと、10、
0:20:35	15ページなんですか、こっち側で具体的にその、じゃあ入力根拠にこんなことが書いてましたとか、ボードは今こんなふうに絵があって、こういうボルトの配置になってるから、3、審査を、
0:20:49	ますとか、
0:20:50	そういった形でその具体を示しつつ、ちゃんと設計プロセスに持って管理していますよっていうのが、示されるイメージでした。なので
0:21:01	歯抜けになるのも当然おかしくて、
0:21:05	前段のものも後段の保守も、基本的には上からずっとこう何か説明が入って、
0:21:13	ていうか、事情、イメージしてたんですけど、
0:21:17	それと大分会議してるなっていう感じなんですけど、
0:21:21	日本イシハラでございますそういう意味ではすいません、私のイメージもそうだったんですが私が途中で折れちゃったのが、
0:21:28	会話をしながら、もともとのイメージをおっしゃってて最初の方の中では全体のプロセスを一つずつ、全体を見ながらこういうことをやるんだよ、こういうところを見るんだ、こういうところをチェックするんだみたいな流れを変えていって、
0:21:41	具体の冷却塔に展開するところはそのあとに、個別具体のものとして書いていくっていうイメージだったんですけど、話をしちゃってすみません私が途中で折れちゃったのが、結果こうなってる。
0:21:52	気がします。はい。やりたかったのはそういうことを作りたかったという意味です。個別具体のところには今日、上ってきたようなエビデンスも当然入りながら、それが出てくるんだということで思っていました。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:06	はい。規制庁深見です。
0:22:10	通じてよ。よかったなと思うんですけど。
0:22:14	そう。売れちゃったっていうのは、自覚的な問題だったんですかそれとも何か別の意見があっという、こういう考えで。
0:22:23	こうした方がいいと思ったとか、何かもう少し、
0:22:26	実情教えてもらえると。
0:22:29	星野さんから聞きたい。
0:22:31	はい。
0:22:32	ええ。
0:22:33	日本原燃保守です。
0:22:36	また意識で27何とか提出させていただいたときに、
0:22:42	カミデさんとかから、いろいろコメントいただいて、そのコメントの趣旨を私が
0:22:49	理解しきれないところがあって、この後ろの方の計算式のところは、計算式の説明をすることにちょっと終始してたところもあって、全部計算式を変えても、
0:23:00	あまりその差、
0:23:02	規格基準に沿った内容だけを書いても、仕方ないなというふうにちょっと公認してしましまして、その計算式のところで一式示した上で、計算、
0:23:15	計算書をどう作成してるかと。
0:23:18	いうところを、を書くのはちょっと私、私の方がちょっと、
0:23:22	理解できてなかったということです。
0:23:27	申し訳ありません。
0:23:28	古作です。す。
0:23:31	前回のヒアリング
0:23:33	俺いなかったんだっけ
0:23:35	いや、いや、
0:23:40	こちらが、趣旨をつたてなかったってことではないと思うんですけど。はい。石原さんはそれはキャッチしていたわけで、
0:23:51	担当者がキャッチ上手くできてませんと。
0:23:55	いうと、
0:23:57	あれヒアリングってそういうことでしたっけ。
0:23:59	キャッチできる人が出てくださいねとお話をしていてですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:07	振り返りとかでわかりましたということだったはずで、戻ってきてからあれなんだっけと。
0:24:14	ということになり、何をすればいいんだっけって資料はどうするんだっけってというのがどどんわからなくなる。
0:24:24	許認可業務課からこうじゃないんですかと。
0:24:27	言われても、それのようにできない。
0:24:31	ていうのは、
0:24:33	自分がよくわからなくなりましただったら聞きゃいいじゃないかっていうことなんですけど。
0:24:37	なぜそういうプロセスが増えないんですか。
0:24:47	日本原燃、星野です。
0:24:59	あ、ごめんなさい、補足ですけど、後さんを責めてるわけじゃないんですね。先ほども言いましたけど、皆さん一緒なんです。
0:25:06	それで困っていて、ちょうどいい機会なので話をしていると、ということなんですけど。
0:25:14	この人がうまくキャッチができないのは、もうキャッチできる人しか行ってるなと言っても進まないの諦めているんですが、
0:25:23	であればこそ、伊原さんとか、本来であれば、耐震だったら大柿さんとか、
0:25:30	ちゃんとキャッチできる人が出て、フォローしてやれと。
0:25:34	いう話をしていたわけですよ。
0:25:36	大柿さんいませんけど、
0:25:42	代表取締役なので、代表取締役専務とか、
0:25:46	なので、絶対出なきゃやらんとは言いませんけど、
0:25:51	だからこそ、両脇に、
0:25:53	なってる方もいらっしゃると思うんで、それはそれでいいんですけど、そういう体制訓練だったら聞きゃいいし、
0:26:03	サポートする人に聞かなくても、当日我々に行きゃいいし、
0:26:10	すいませんちょっと意味がわからなかったんで教えていただけますかとか、いいわけですよ。
0:26:15	ちゃんとキャッチして帰ってもらわないと。
0:26:17	その資料を作ったまた来てのヒアリングとか、無駄な時間がどどん積み上がっていく。
0:26:24	それは皆さん辛いことだと思うけどこちらもつらいんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:30	無駄な作業、無駄な資料チェックもしなきゃいけない。
0:26:33	ということなので、着実に受け取っていただいて、必要な作業をしていただきたいんです。
0:26:41	なので、わかったつもりでいたけど、帰って、いざ筆動かそうと思ったら、あれ。
0:26:48	とわからなくなったら聞きゃいいんですよ。
0:26:51	そのために許認可業務かなり大きくなり、同席してると。
0:26:56	それで、
0:26:57	話した結果、違うんじゃないですかと。
0:27:00	うんだったら我々に聞きゃいいんですよ。
0:27:04	それでいやそっちじゃなくてこっちだよっていう話であればそっちの方向で作業すればいいわけですよ。
0:27:11	それができないことが根本的な問題なんです。
0:27:20	もちろんそれはご理解いただきました。はい。
0:27:25	何でできなかったかって何か事故分析あります。
0:27:57	よろしいか。
0:27:59	優位難しい。多分、
0:28:01	私の自己反省としては、大体これまで失敗するパターンを考えると、
0:28:07	私がこういうことですよってしゃべっちゃってるパターンの時が、ああいう人が理解してるのかっていう確認までできないまま進んじゃってる。
0:28:16	ことがあると思ってます。実際今回特に最後の方だと、東京に来て、バラバラになってるパターンもあったんで、
0:28:24	このシートのヒアリングも実際私東京にいて、
0:28:28	金田さんとやりとりを彼らがしてて、全然なっちゃう各地でさっきみたいなやり方で整理しますって言って、そうですよねって会話が終わってたところなので、実際かやる人が認識できた方がね。
0:28:40	確かにキャッチアップできてなかったところだと思います。ただそういうところをちゃんと認識できてるかどうかを問いかけて確認してっていうことでわかんなかったらみずから聞くっていうことをやっぱりしてもらわないと。
0:28:51	顔見ても、遠隔だとわからないですし、わかってるかどうかは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:55	そういうところはちょっと、2回は特に注意しないと、いろんなものが同時に走ったりするとバラバラになるので、はい。そこはちょっともう一度、関係者にちゃんと共通認識を持っていただければと思います。
0:29:08	補足ですけど、まず、ヒアリングでの対応でちゃんとキャッチアップできてなかったっていう問題には、そういう状況だったんだろうなと思いますけど。
0:29:22	もしキャッチアップできてないなら、
0:29:25	そのあとミーティングしてますよね。
0:29:29	はい。
0:29:31	ねえ。ヒアリングの後に、皆さんで打ち合わせしてるって聞いた。
0:29:36	こともあるんでやってると思うんですよその時に、なぜ、
0:29:39	わかるまで話をしないんだ。
0:29:42	ということですけど、あれですか石原さん怖くて。
0:29:46	とても山下さん。
0:29:49	時間とると、なんでわかんねえんだって怒られて、
0:29:54	元の場所です。そういったことは、
0:29:58	はい。補足ですであれば聞きましょうよと、いうこと。
0:30:02	です。
0:30:04	先ほども言いましたけど、その場でわかったつもりになったけど翌日作業始めたらわかんなかったらまた聞けばいい。
0:30:11	本当はイシハラさんイシハラさんだと辛い柄沢さんっていうことになったり、
0:30:16	それだけでもづらいので、皆さん、他にも同席されていて、僕はこういうふうに思っていましたよ。
0:30:22	というような話で、サポートみんな出してあげれば、
0:30:26	そこでまたずれたんだったらみんなで打ち合わせをすればいい。
0:30:31	いうのをやるために体育館に集まったの。
0:30:34	ですよ多分耐震チーム東京と六ヶ所分かれてるかもしれませんが、
0:30:39	それでも一応人間ですよ。
0:30:41	多分、
0:30:43	だったら、
0:30:45	その場で打ち合わせもできるし二元で打ち合わせもできるし、
0:30:50	ということだと思いますよね。もっぱら中で、この間、現地見させていただいたと言っても、体育館は何であんなに静かな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:00	なぜここで仕事をしているんだろう。
0:31:03	非常に疑問なんです。我々は気合いでやってるわけですよ。
0:31:13	管理課と私の声が響き、私の声が響くの週1なんですけど、
0:31:21	ということなので、はい。よろしくお願いします。
0:31:26	本件も何ですかね。
0:31:31	プロセ数。
0:31:34	最初なんだっけプロセスの項目ごと、
0:31:38	はい。
0:31:40	て言っているからその関係性を示しそれぞれでやることでその検証として何と何をと。
0:31:47	いうことが、そのプロセスのタイミングごとで言うべきことは決まっているわけですよねQMSにのっとして皆さんやってるんだから、はい。
0:31:56	それをただ起こせばいいと。
0:31:59	いうことで何か新しく何か考えなきゃいけないってことで全くないし、
0:32:05	それができないんだとするとQMSにのっとしてやってないになっちゃって、
0:32:09	より一層我々困っちゃうんですけど。
0:32:12	そうでない古藤は
0:32:14	祈っております。
0:32:16	よろしくお願いします。赤嶺さん、どうぞ。
0:32:20	はい。規制庁管です。なんで大枠としては、そんな構成の考え方って いうか目的とかっていうのは、
0:32:28	あとちょっと具体的に中身の話をすると、8ページとかで、
0:32:33	解析モデルの設定がありますと。
0:32:39	ここで今参考ってなって冷却等確認してますということなんですけど。
0:32:48	何と何を見て確認したかっていうところまでちゃんと書いて欲しいし、 それは上の丸のところでもそうなんですけど、こういうもの、これとこれを、
0:32:59	青井消防しますけど、ここですね
0:33:03	この資料全般そうなんですけど、
0:33:06	基本的に照合するとかって言ってるんですけど。
0:33:09	相手先いなかったりするんじゃないですか。だから何見ても、今般、 そういうところ骨格のやり方は、前段のプロセスの具体としてコピー。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:20	大体入力根拠書とかも結構あったんですけど、具体的入力根拠書詰めみたいなのは後ろの方のプロセスに直接に出てくる。
0:33:33	いうのでそれで
0:33:35	一つ一つ、設計プロセスの枝葉も含めて、これとこれで確認します。具体的に確認するのは、下のはこういうものですよというのが積み重なっていくと、一応一通り、
0:33:49	方針で書いたことが、の具体がちゃんと品質管理としてちゃんとできてるっていうのが、
0:33:56	後ろまで行くので、そういう構成にしてください。
0:34:02	あと細かいところは、一つ一つは言わないですけど
0:34:07	全般見ててやっぱり何と何を確認するのか、あとはどうあればOKなのかっていうところも、あまり書いてなかったですので、その判断基準ですね。
0:34:19	含めてちゃんと書くと。
0:34:21	ところをお願いします。
0:34:23	コサクですけど。
0:34:25	とりあえずこの8ページで言ってるところで今のカミデの花Cを踏まえ、どうしたらいいかって、私はイメージが湧かないんですけど、
0:34:36	越野さんは来ました。
0:34:39	同数どうすったらいいと思って聞いてます。
0:34:44	日本原燃保証です。まずう。
0:34:46	一番最初の右側のところですけども、解析モデルの設定の丸の一つ目ですね。
0:34:53	ここであれば、こういうことを確認すると書いてあるんですけども、
0:34:58	実際に
0:35:02	選定したモデルルーが構造図を見てですね、
0:35:09	進展形で選定することが妥当であるということ、構造図から読み取って、
0:35:16	確認するのがまず一つかなと思います。
0:35:21	カコウソクです。はい。
0:35:24	私のイメージは、そこまでいくのかなというのが疑問だったから、
0:35:29	言っていてですね。
0:35:31	構造図を見てもルーの適切性を見るっていうのは、これから飛んでいったモデルルーの設計の方針になっているところ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:42	なんですよ。
0:35:44	はい。それ、そこでそういうことをやるのに、ここで似たようなことをまたやるのかと。
0:35:51	いう気がしていて、
0:35:57	いたんですけど皆さんそういうふうに、
0:35:59	各プロセスで同じようなことを延々とやってたってことでいいんですか。
0:36:05	多分ここ何もやってないですよ。
0:36:09	何もっていうとちょっと語弊があつてとか、
0:36:13	ほぼ暗黙知でスルーしてませんでした。
0:36:17	これは針だよ、これは出典系だよ。これは有限要素だよって思って、スルーしてません。
0:36:25	日本原燃星野です。
0:36:29	正直に申し上げますと構造から見て、大体こういう
0:36:40	コサクですそうですね。はい。だから、取ってつけたようなプロセス書く必要ないんですよ。
0:36:48	てことは、モデル化の時にそういう確認をしますと。
0:36:53	いうことで下に飛ばせばいいんですよ。
0:36:55	それが一番最初に、最初につかここの部分で最初に上出が言ったように、ここは大枠のプロセスを書くところであって、詳細を書くところじゃない。
0:37:05	ということなんです。
0:37:11	それもさ、一番最初に言ったその枝葉と例外とっていうのと一緒に、
0:37:16	ここは大枠骨格を示すところであって、はい。
0:37:20	明示的に領域の
0:37:23	クリアの線を引かなくてもいいんですよ。
0:37:27	出店系でやるのも有限要素法でやるのどっちでもいいやという領域だあっていいわけでしょ。
0:37:37	なので、
0:37:40	考え方が示されていてこれが次飛ぶね、後ろの方の基本方針。
0:37:46	と対応ついているかと。
0:37:49	ここではその出店件について、ジャンクに掲載されている容器はポンプと言ってるけど後ろでは違うことを言っていると。
0:37:58	ということだと困るんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:00	だから、そういうふうに文庫、ここが未幹なんだとしたらちゃんと江田がちゃんとしたところの幹に繋がってますかと。
0:38:08	いう検証をしていただきたいんですよ。
0:38:13	それが上流から下流へっていうことであって、
0:38:17	流れに沿って、次の接点になるところの接続までをつなぐんですよ。
0:38:27	その一つ一つの区間について必ず、全体のスタートからゴールまでを必要はなくて、
0:38:33	駅伝の人たちは、一つの区間区間を自分のスタートからお尻までいくわけでしょう。
0:38:40	でスタート地点は、全区間の、
0:38:43	終わりのところになきゃいけないわけですよ。
0:38:47	ていうことを言えばよくて、
0:38:50	次の区間の中間地点ぐらいの説明をする必要もないわけでしょ。
0:38:58	というのでここでやるべきことっていうのをしっかりと認識をすると。
0:39:02	いうことで、
0:39:04	やるべきことは一番最初に石原さんが言われたので、再度は言いませんけど、
0:39:09	そういうことを意識してやればいいと思いますけど神さん。そういうことでいいですか。はい。神戸です。大丈夫。
0:39:19	はい。藤規制庁からです。で、もうちょっと、
0:39:22	具体の方でどれぐらいの目線で書くかっていう話なんですけど。
0:39:28	8ページのこの参考のところだと、
0:39:31	冷却、
0:39:32	等に搭載製造加工冷却とそのものじゃなくて乗っかってる機器の話を見ましたですね。
0:39:39	これについては、
0:39:42	失点系モデルにしていますっていう話なんですけど、実際はどういう確認を、何の書類とかを見て、
0:39:50	どういうふうに確認したんですか、この数。
0:39:53	木藤齋木のモデルの妥当性っていう
0:39:57	日本原燃石橋です。
0:40:01	えっとですね、今大変申し訳ございません。今私たちの方がですね、1例示ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:08	1 学校のところを今持ってきておりまして、例えば主事がこうであれば っていう観点でちょっとお話を冷却と支持学校ですね。
0:40:16	のを、こんな温泉町いやもの見せなくてもいいよ。
0:40:22	ね。
0:40:23	廃棄の説明をすれば、
0:40:27	こそ入院できる
0:40:29	んですが、日本原燃柴先生、こういう本今回冷却塔の搭載機器、例えば ファンを代表にお話させてもらおうと。
0:40:40	ただファンっていうのが、こちらの耐震記念 14 という別の補足説明資 料になるんですけども、こちらでお話させてもらったみたいに、形状 っていうところを加味すると、油ポンプ、縦型ポンプとか似てるような 構造をしてたりとかしますと、
0:40:55	そんな感じで、その形状っていうところ、これに出るねっていうところ で、それを規格基準に照らし合わせたときにどういう評価をしていますか っていったところを見て行って、出展系モデルで、
0:41:06	今それ出展系モデルで解析をしますかっていうところで、モデルを選定 して、評価を実施していき、実施して、
0:41:14	行っているというところになってます。
0:41:17	はい。規制庁深見です。で、
0:41:20	そのやった、今やった行為を説明してましたけど書類名も、
0:41:26	どの書類、
0:41:32	それが本来の目的で、何の小ネットを突き合わせて妥当性を確認してま すっていうのをここで話したいから例えば構造とか設計図書があるか ら、そういうのを言って欲しいです。
0:41:44	すみません。日本原燃芝先生。まず、
0:41:48	と、この形状はどう、どうだということにつきましては構造図、
0:41:54	等を見て構造図を見てまず形状の確認をいたしますと、その上で、規格 基準尺とかを見て、それが本当に適用できるのか形状の観点、
0:42:04	ところも含めて、まず確認をしておりますと。
0:42:07	で、その上で、まず、
0:42:10	尺で示している型式と、今回うちで使用している例えば、型式がイコー ル
0:42:17	類似しているのであれば、そういう視点系をモデルとか資格基準示され ているものを用いて評価を実施しているということになってございます

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:27	以上です。
0:42:28	規制庁管です。失点系モデルは何を見て、
0:42:33	計算書、
0:42:36	それとも入力ポンプ所。
0:42:38	日本典型モデルは入力根拠書のところで見てございます。
0:42:44	ちなみに、青規制庁込みです。
0:42:47	もう1個聞こうかな。11日の話はどういうふうに
0:42:54	確認してますか。14、日本原燃石橋です。17につきましては、先ほど
0:43:00	お話させてもらった入力根拠書っていう中に、中でそのものの構造図から寸法等を引っ張ってきて、大体この比木木田であれば17っていうのはこういう、ここにあるよねっていう
0:43:14	弱に示されてる計算式等を用いてですね、17を割り出して、
0:43:18	評価をしてございます。
0:43:20	以上。
0:43:22	二つあります。
0:43:23	今患者さんの質問の意図その先考え中心地明確に出ない、あるでしょうというところがあると思います。そこについても、確かにあります。そういう時はどうするかって言ったときに、てっぺんで見るっていうことで、構造図で一番上のところ、
0:43:36	起きたりということ、判断をしてるっていうことで考えました。
0:43:39	大体は、今、千葉重田君。
0:43:42	と形状とバランスで、17はここだよねっていう計算とかで出し、出したものを見たりとかってしてる。
0:43:51	2種類の見方です。
0:43:57	はい。規制庁甲斐です。
0:44:02	ちょっと共通10番になっちゃうんですけども、こっち、そういう人たちには、
0:44:09	画面で見せれば、
0:44:17	印象の点。
0:44:19	よろしいですか。
0:44:23	解析や、入力根拠の明確化及び入力結果の確認。
0:44:28	プロセスがあって、110番、66ページですけど、
0:44:34	これに対してどんな書類を作ってるかっていうのを教えてもらいたかったんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:41	手元資料で、
0:44:47	イメージ、口でしゃべったですね。
0:44:49	はい。
0:44:52	はい、井上さんはですね、イメージを口でっていう今のところでいきますとこの解析モデルの設定っていうところで書かせていただいている設計プロセスの項目、それをすべてんと。
0:45:02	チェック手順に起こしてしまして、それをチェックシートとして、各機器っていうものに対して、1工場中であったり、設計図書であったりとかっていうような、コンピューターと結びつけて確認してるっていうのが全体の流れ。
0:45:19	頭規制庁簡便性チェックし、
0:45:23	何か私のイメージでは、入力根拠は、モデルに入れる。
0:45:28	こんな感じのモデルにしますという絵があったり、そのチェックシートが、
0:45:34	今、まず退職。
0:45:39	今、日本原燃笹井則はいらないから記録にして、
0:45:42	ごめんなさい、記憶にないと。
0:45:46	はい。
0:45:50	多分チェックシートはその骨格が書かれてるだけでその中で、何を見ました。
0:45:56	ていうことが書いてあるんですよ。
0:45:58	じゃその何を見ましたら、聞かせて欲しいってこと。
0:46:22	これは何。
0:46:24	指 05 とか、実際にエビデンス、こっちに貼り付けてるってことは番号をつけたりとかして、何、どこで確認してますっていうのを後で見れるように、
0:46:36	これで見れるのかすごいな。
0:46:41	これは何。
0:46:42	これはもう会社解析てたんですね、皆さんの意向は。
0:46:47	これを一つの A B 例えば丸井北ということになります。はい。これは田子束になってくるかなと少し丁寧にお話しさせてください。一応、基本のお会いしました。浜崎さんの話なんで、その、
0:46:59	一貫性がとれた D3 入力からアウト。
0:47:03	1000 万から 1000 枚用意します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:07	入っているっていうところも入力上、
0:47:10	あんまり、
0:47:15	して、構造図、
0:47:17	先ほどの、
0:47:19	確認しましたっていうのを残してくっていうことを、
0:47:25	これは入力結果だよね。
0:47:28	そうですね、インプットの
0:47:31	3では家田から何か、
0:47:34	入力根拠、入力根拠はこっちは入力結果だから入力根拠はどれっていうところになるのか。
0:47:40	はい。ていう説明をさ、下がって欲しいんだよ。
0:47:45	なんでこれが改善しなきゃいけないんだっていうことです。
0:47:48	日本の吉田です。
0:47:50	ちょっと失礼いたしました。
0:47:51	まず入力根拠としまして先ほど石橋の方からお伝えしました構造であったり、
0:47:58	規格であったりっていうところを、すべて取りそろえて各設備ごとに、
0:48:02	諸元等を設定して確認しております。
0:48:05	それを確認した情報というのですね、こちら、
0:48:09	インプット以降というところに、それぞれの設備の条件というところを適切な位置に入力しているというところを確認して、我々としてはその解析というところを妥当性ということを、
0:48:19	前提を確認していくと。ちなみに適切な位置っていうのはどうやってみて、喜多江藤手順書の方にここに入ってるよっていう、マニュアル作ってるから、
0:48:31	あ、はい。
0:48:33	これが入る。
0:48:34	うん。
0:48:37	いや、こっちか。
0:48:43	じゃなくて、これの実際の塊なんですか。はい。その中に、
0:48:48	堆積構造を見るんですって書いてある。
0:48:53	なんですよ。そうですね。
0:48:58	1例なんですけども、
0:49:01	ここに、例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:02	うん、こういうふうには接点はこういうふうに入っていきますとかっていう、XYZ加工ですとかっていうのを解説書、これを解析コードごとに全部作った上で、これをんと、例えば担当者とかができるようになっていうふうなことをやってチェックしてきたっていうところですね。はい。
0:49:17	はい。
0:49:21	入力根拠と結果ですよ。それをチェックシートでどういうふうにする。
0:49:29	すみません。
0:49:32	その入力根拠書というところには、この今チェックシートに並べている、入出力データの一貫性、
0:49:39	接点要素、拘束条件等の項目、うん。
0:49:43	この入力上はそれぞれごとに一つ一つの入力根拠というところを確認することになっております。
0:49:50	そこで確認したデータというところで、先般星野が説明した通りこのエビデンスの一番というところでは、
0:49:58	この高速上汗拘束条件について、
0:50:01	すべて図面等が確認できたというところでチェックを一つ一つ入れてすべてのチェックが決まることによって解析データの確認ということをしております。
0:50:10	6規制庁何と何を見たっていうのがあんまりよくわかんないですねエビデンス1個しか載ってないから、これとこれっていうのはやっぱわかんないんですけど、基本あれですか。
0:50:21	何と何っていうのは、最初の何はもうなさ脳エコーデータであるから、それは当たり前の話で、だから今ここに書いてあるエビデンスの名前は入力根拠の方、要は図面だったり、
0:50:34	自重14に算定した計算書だったり、そういうこと。
0:50:40	日本原電します。
0:50:42	はい。
0:50:43	この10本とおっしゃる。
0:50:45	いや多分違う、俺が、この書類古作ですけど、この書類を見る限り、そうではなくて、何と何とはここには書いてなくて、はい。自明で、両方も自明で構造図等々、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:59	何つうの a 項で、拘泥たを比較するというのは自明だから書いてなく、それがそれぞれどこに書いてあるかっていうのを、この項目については B01 として書きます。
0:51:13	とって、両方にナンバリングしてるっていうことじゃないの。はい。
0:51:20	日本原燃星野です。具体的に絞って話しますと、物の形状のところであれば、もちろんインプットエコーにはその入れた入力結果が入りますし、
0:51:31	これを入れる前の状態としては、構造図があって、構造図の形状からこういうふうにモデル化しようと、モデル化しようとするときに、
0:51:41	段階においてですね、概要図を、
0:51:49	うん。パルスカラムの横についてる。パルセーション遅れたの配管なんですけど、そこの配管を、
0:51:57	概要を出して、うん。この長さとか、グリッドをどの辺に置きましょうとか、そういう設定を、
0:52:04	一旦考えてですね、このグリッドの番号の位置とかを、どこにしていますと、その寸法はどうしていますっていう、口径はどうだとか、そういったことを整理した上で、
0:52:15	この所、県がインプットエコーとしてきちんと入ってますということ、このグリッドっていうのがその設定のところなので、ここの中で、座標として、きちんとした寸法が入ってる。
0:52:29	いうことを一つ一つ確認してるのが、形状としてはそういう確認をしています。
0:52:35	種類三種類の紙ってことね。はい。大本の構造図云々の間に、そのモデル図的なものがあり、最終的な入力結果があると。
0:52:47	と、いうふうになってますので、これがですね正直に申しますと、
0:52:54	メーカーさんによってもその作り方が、いろいろまちまちですので、
0:53:00	基本的には構造図ベースで、間に何かを挟んで、これを起こすようにすると、まちまちでも、高速のルールは一切変えてなくて、まず大前提は構造図と、
0:53:11	設計の元が承認してる設計図書、これでやりますというところで、そこに新設に間に入るのは、それは見る人の労力とかもあるので、
0:53:22	ということで、中身は全部統一とってますっていう。
0:53:28	物の複雑さとかによっても、そのつくる資料がちょっと変わってきます。
0:53:35	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:38	構造。
0:53:39	ここ。
0:53:42	当然、歴史が変わったりすると、
0:53:47	管理っていうのはあります。そんな、
0:53:51	すいません、逃げて嵯峨です。ルールの中で最新の設計図書っていう言葉使いすべてやってますので、
0:53:58	なんで例えばデビジョンが上がりましたんで、実際の寸法とは違うところがあるときもあります。その時は、実際の寸法変わってないっていうところまで確認して、最新であることの管理をやってる。
0:54:09	先ほどの資料2、
0:54:13	記載は、
0:54:18	は、それでね、そうそれで言うとチェックシートには、エビデンスとして何をつけたかっていうのが書いてないから、何が最新、チェックした判かっていうのが、
0:54:29	わからないじゃないかっていうのが心配なんですね。
0:54:33	もう一つ言いますとすみません。それっていうのが、
0:54:35	許認可上のマニュアルなんですね、図書という機能マニュアルで最新というのがまず徹底の方にありまして、そこにある形で、耐震、
0:54:46	開析度はこういうふうを確認しますと、店舗扱いに今作ってるんで、その全体の流れからすると最終。
0:54:53	はい。
0:55:02	はい。結局カミデで、
0:55:04	なので、
0:55:06	8ページ耐震綺麗に17と、上流じゃなくて下流側の説明の方には、
0:55:13	入力根拠のほうを、実例として出してもらうような図面だったと。設定割の話がありますけど、こういうふうにありますので実際はこういうふうに、
0:55:23	やってますというデータとして、図面だったら書き込んだ図面だったりなんだから、ついてるっていうイメージを私は思って話をしましたので、
0:55:33	エコーの方入力結果はもう別にいいので、入力根拠の方ですね、をちゃんと示してもらえればちゃんと
0:55:43	言っていたプロセス通りに、品質管理してやってるから、1個見ておけば他のも同じようにちゃんとやってるんでしょね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:51	いう判断。
0:55:52	できるので、そういうふうに、
0:55:55	作り込んだ
0:55:57	うん。
0:55:58	そうです。ちなみにその今言ってた入力根拠、今その書類ありましたけど、
0:56:04	それでまた御話ができないものっていうのは、
0:56:09	ないのかっていうと、どうですか結果はそこには入ってこないのかもしれないですけど、
0:56:14	今、8 ページから解析モデルの話があり、
0:56:20	そのあと、温度だったり、拘束条件、圧力、比重断面特性、
0:56:26	失業。
0:56:27	とかありますけど、全部その中で確認、その書類で確認できる
0:56:36	これ、補足しますと、
0:56:38	今年からいうとカミデさんのおっしゃる通りですというところで、何で大丈夫っていえるかといいますと、この1、一時期ちょっと迷走等はよくないですけど、この資料どこに行くんだって迷走し始めたときに、
0:56:50	医者とも相談しまして、ちょっと自分も参入してこれは不都合として立ち戻ったのが、先ほどの解析
0:56:58	シートという情報で、結局そこにある情報で解析をすべて回す、し、必要な情報が全部載ってるというところなので、その項目を書き起こして今回この資料作ったので、ここは一致するとなります。以上です。
0:57:12	はい。長官ベースもわかりました。あとは、
0:57:17	Sクラスの設備。
0:57:19	再生もそうですけど、
0:57:22	申請対象を全部こういう、
0:57:25	ものは、今原燃の手も原燃の当初として現在持ってるってことで、
0:57:31	はい。状況ありました。規制庁金井です。
0:57:35	あとはあれですね、私が話をしたかったのは、アウトプットをどうやって妥当性確認しましたかっていうところなんですけど。
0:57:42	説明してもらって、
0:57:46	ちょっとのイメージで、ちょっと登録っていうイメージなのかそれともモデルとかの設置、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:52	こちらをイメージされてますかね、規制庁、基本的にはこういうGだったり、あと、応力っていうか、応力は、
0:58:01	コスト処理はあれですけど、その手前ですね、荷重、
0:58:04	状態ですね、出てきたものを計算、
0:58:08	エコー着入力結果であります長嶋下流しでコンピューターが出てきた。
0:58:14	ものが、確からしいのかっていうのをどうやって見てますか。
0:58:21	はい。
0:58:23	今の日本の一番施設、今、
0:58:29	ですね、まず一つずつ、ちょっとご説明させていただくと、例えば今、
0:58:36	先ほど星の方から説明したみたいに、例えばグリッド一つ一つ入れて例えばモデルをちょっと作っていきます。メールちゃんとな。
0:58:44	入力条件として入れていきますよ。そうした結果、すみませんちょっとこれ、
0:58:49	本来わからなんですけど、
0:58:51	壁になってなくて、
0:58:53	こういったものが例えば出てきますと、そういう、そういったものをちゃんと見たときとって、
0:59:01	梁モデルの
0:59:03	図
0:59:04	というか、
0:59:07	ものを見まして、その成長カミデです。
0:59:10	これ、入力家入力結果の確認行ってませんから、私は計算結果、すみません。
0:59:18	やります。
0:59:20	まずですね、入力の話をしたのが、例えばここに、外形寸法とか主要寸法とかって見たときに、本当にその接続するところ合ってますかっていうところまで、まずは見てあげて、ていうのが、接点を、
0:59:34	100メッシュに切るとかいろいろあるかもしれないですけど要素でつなぐところの位置が適切ですかというのを見て、モデルは間違いなく実機模擬できてますねっていうところからいってカミデさんが、
0:59:44	おっしゃってます。アウトプットが正しいかどうかの確認というところに対しては、まずあれして、
0:59:51	こちら、落合じゃなくて、モード。
1:00:00	こちらは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:01	こちらが冬季
1:00:04	冷却と冬季運転と休止って二つあるんですけども、まずこちらが冬季運転のEW方向、EW方向と、
1:00:12	X方向と、衛藤竜二Z方向ですね。
1:00:17	担当休止っていうのもまた三つありますと、まず、まずさっすいません、私話し方をちゃんと間違えたんですけど、インプットがまずあってるっていう前提で、
1:00:29	このこういう固有値解析の結果とかを、
1:00:31	美馬積みますと、そういったときに、例えば、
1:00:36	変な挙動。
1:00:37	ていう、変な挙動という考察をスタートにして、
1:00:41	はい。しっかりちょっと
1:00:45	一つの部材だけ例えば変に折れ曲がって何か大きく変形しないかとか、そういったものをこういうモード図とかでちゃんと確認をして分析をした上で、このモデルっていうのはそういうような突破、
1:00:58	局所的なものだったりとかっていうのが出てきてないから、これは全体で見れてるちゃんともう模擬できてるのかなっていう。
1:01:06	ページでしゃべって欲しくて、まず第1、第1に、こんな100、足元全部押さえてるようなものは鉛直とかそんな5に決まってるよね。ここは経験値じゃないんですけど見ていくと、
1:01:16	アップダウンがやっぱり75時で交互領域に出てますねっていうところが来て、これだけでいいかというとなんかそんなことはなくて、今回、途中で河崎さんとかでもいろいろ議論させていただいた通り、
1:01:26	冷却塔について、有効質量比の関係からこういうところからこう出てるよっていうところを幾つか確認してたでしょ。そうでも言って欲しい。
1:01:40	申し訳ないんですけど、例えば、最終的にこの、これを用いて例えば事象と解析とかした時に、2階フロアっていうところが元各フロアに比べても重量比がめちゃくちゃ重いと。
1:01:53	もちろんそれってのは支持学校搭載機器っていうのがあって、
1:01:56	外れを配置してしまってる手前の2階フロアっていうのが、
1:02:00	重量比が大きく大きいんで単純に普通、これはなんていうんでしょう、当たり前っていうのはわかんないですけど、大きく振れるイメージ物が大きければ真ん中についてるものが大きければ振れるイメージを、
1:02:11	がありまして例えばそれを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:13	見たときに、今の4-6別紙4-6の中でちょっと数えZPA示してま すけども、やっぱり2階フロアってところが、最終的にはすごく、す ごく上の階に比べても大きく出ちゃってるよねとかっていうところを見 て、
1:02:25	最終的にそういう質量重量とかも含めて、そういうところが模擬でき ているからこういう挙動を示しているんだなというところでJ a p pのモ デルは妥当ですねっていうところで、確認をさせていただきます。
1:02:36	ポイントポイントってよりかはこれ全体をこう一般的にというか全体を 通して見たときに、最終的に結果まで見ても、このモデル含めて、こ の解析は妥当だったと。
1:02:48	いうところで妥当性を見ておきますと、いうところになってございま せん。3、2種類あると思ってまして、3種類、3種類あるかと思いま して、一つは例えば試験やってるものっていうのは、試験とかの比較な どは類似してる、試験結果があったりして、試験、
1:03:04	この比較、別紙の方が合ってるよねっていうところで見ると二つ目と しては、こんな大層なモデル組んでないっていうのは、まあ線形じゃな いですけど、同じような傾向で、
1:03:15	入れてるよねっていうところで、今の三つ目のところが難しいんで、本 当にこのモードが合ってますかっていうのはいろんなデータを使ってま ず見てあげて今石橋二通り、これ、この、この形状からいったときに、
1:03:29	このあたりのモードが大きく出てるってそうになったら、応力が最大値出 てるところが何でだろうっていうところも分析してあげて、であれば妥 当だよねっていうふうな見方をしたというのが冷却塔になってまして。
1:03:40	もう一つあるのが、ちょっとオプションじゃないんですけど、社員計算 っていうのも手計算でちょっとやってあげまして、この解析モデルで出 た場合と、その手計算でやったものっていうのが、
1:03:52	どんな関係にあるんだっていうところで注目して、関係が崩れてない関 係が崩れてないって言うのは、複雑なモデルをやってて、それを簡 単な手計算でやると、計算の方が、
1:04:04	やわらかめに出るよねっていうところで、傾向を見た上で、ジャッジし てるっていうのが、このやり方です。
1:04:10	以上です。
1:04:12	はい。規制庁深見です。
1:04:17	最小なんか入力が入ってるからっていう話をされた時点で旨とは思いま す。最後の方はそういう、こういう説明になっていて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:28	何、何て言うか皆さん解析だけ専門でやられてるわけじゃないので、なかなか説明は難しいんだと思いますけど、そこはやっぱり、
1:04:38	改めてこれを基にっていうわけではないですけど、ちゃんと見る目線っていうのを整理して書いてもらったらいんじゃないか。
1:04:46	思います。
1:04:48	これぐらいの話だと、何時まで見なきゃいけないとか、そういうこうしてる。
1:04:53	どこどこまで聞くの。
1:04:55	いうところでまず、それと結構なモードあるんで、
1:04:59	結構、結構モード図を見なきゃいけないと思うんです。10枚とかじゃなくて、どこぐらいまで見なきゃいけないかっていうところもあるし、
1:05:08	あとは
1:05:09	構造の特徴から、こういう挙動を予想して、そういう通りなってるかっていうのもあるし、あと今回モデル変更ですから、既工認のはりモデルがあつてそれとも、
1:05:21	こういう時見てますよね。近しいところだからそれをどう、
1:05:28	どういう、全く一致はしないんで、
1:05:31	この両者を見た場合に、どういう観点等もありましたと。
1:05:36	そういうところをしっかり
1:05:38	書いてもらって、示してもらってというのがまずそのアウトプットのうちの、モードっていう意味ではそうですし、
1:05:47	応答値普通に荷重値とか変位もおんなじ話なんで、そういう感じだと思いますし、あとポスト処理は簡単で今もうすでに書いてありますけど規格等の消防、エアポート商品に使ってる。
1:06:01	計算式が、規格と一緒にすっていいのを見てるんでしょから、そういうことをちゃんと
1:06:07	やってもらう。
1:06:09	いうことで一応
1:06:11	インプットからアウトプットまで全体その設計プロセスの%2、ちゃんとやってますっていう宣言になると。
1:06:18	そういう意識で、もう一度 27、
1:06:24	はい、という感じかなとは、私からそれぐらいですけど、僕はお願いし、
1:06:28	規制庁とでも 3 メーターのような資料がそこにはある。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:33	わかります。関谷さん。はい。あと、決算の比較だとか。はい。それは ない。
1:06:44	の観点でのチェックでできるわけですね。はい。調査のルールの中で 入れてます。それは今、
1:06:52	契約等は連携を組んでということですね。はい。はい。確認はした上で 妥当だと思います。はい。はい。
1:06:58	じゃ、こちらができるとまずはそういうことをやってますよっていうの を説明するのが、この資料。
1:07:07	で、
1:07:08	ここのエビデンスを示すのはまたその計算結果なり計算方法の、
1:07:13	ここの説明、補足説明資料があって、それの中での別紙としてエビデ ンスがついてくるっていうイメージでいい。
1:07:23	私は今野も含めて、27年に今の守備範囲、27年度にそうすると27、す ごい膨れ上がる。
1:07:32	類型ごとにつけなきゃいけない。
1:07:35	今は頭で共通的な問題で、そのあと個別の部隊の話をしたときに、その ときに使ってるケースがそのバックでつくイメージを持って話してまし た。はあ。
1:07:48	そんなんなります。
1:07:51	もう図も全部作るわけじゃなくて、この書類としては、長吉川です。
1:07:57	話なので、
1:07:59	ただいや、もう一つだけで言えばその戻すっていうか何。
1:08:03	第1回はね、機器がこれだけだからいいけど、
1:08:08	第2回になると類型があって、類型ごとには必要でしょう。
1:08:12	はい。
1:08:13	江田幅って途中で冷却塔じゃないものが出てくるからそれが入ってきた ときに、一気に読みにくくなりそうな気はそうするので、そこの工夫も 必要ではありますよね。なんで、
1:08:25	類型ごとにやっぱり別で整理するっていうやり方も当然ある。
1:08:30	うん。
1:08:31	ここ一緒の組み方かもしれないけど、
1:08:34	何で27はその目線だけの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:37	こういうふうに行っていきましてもそういう資料で、具体的に補足は別っていう形でも、その辺は河津というかお互い作りやすく読みやすくってというのが事故では、
1:08:52	ちょっとここにおられるかもしれないけど今多分最初の話をしてもらってデータの方でも 37 名つけてもらって、考え方も同じかって言ってた樁の方は基本的に風荷重の評価とか
1:09:06	連絡等とかであるとかネットとか工事店に関しても何もできないかっていう例えば現場の中で利用しますよってというのが多分別になってて、そのうちで行った評価に関しては個別でやってるんでそっちの方に出しましたっていう考え方だと思っているんですけど。
1:09:20	基本的にはその理解でいいかっていうのと、その竜巻の評価をやる時にそのまま適用できるんですよってというのは、今検証中製作所と一緒にしょっていうぐらいで終わって重要な気もするんですけど。
1:09:30	考えていいですよっていうところ Lower。
1:09:34	六ヶ所に何か今日いるっていうから、左に行ったりすると、
1:09:40	さっき、さっき名前が出なかった。出席者たような気がしないけど、
1:09:47	六ヶ所誰か発話してください、いるかいなとかか含める。
1:09:52	6ヶ所ですけども、今日ちょっと竜巻の担当者、ちょっと出席しておりませんでした。
1:10:01	佐竹先生が当たり前なんで大丈夫ですけど答えてもらえないと二つヒアリングするのっていうことになるんですけど、
1:10:07	僕に確か電話かかってきて、高槻でいいですよって話してたような気がするんですけど、日にち確定してから連絡はしてないものを誰か話していることにして欲しいなっていう気がしますけども。
1:10:20	うん。そういう意味ですと、私が所属する、すいません日本原燃目時ですけども、私がいる家の中で、土肥君の耐震をやってますし、
1:10:31	竜巻もやってますので、そこで横並びでちゃんととれるように、竜巻を実際担当してるときは、あと、ちょっと 1 点補足すると、やっぱり評価モデルとかは、今谷井さんがおっしゃった通り、同じものなので、
1:10:43	今みたいに対してこういうモデルで、こうだから妥当ですと、その判断したものを竜巻も流用して、そこに対してどう充てましようっていうのはまた同じようなエビデンスをお伝えさせていただいて見てるといことです。
1:10:55	ちなみに、古作です。その検証って、耐震でありまた竜巻でそれぞれでやってる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:04	のが本当なのか。要求事項二つ合わせて、そのよき二つの要求に満たすモデルだというふうに検証しているのかってどっちなの。ですね。そういう意味ですと、
1:11:16	今コアのさ、見ていただいたやつっていうのが、その解析モデルって言われるモデルモデルの妥当性を見るための資料になっているんですけども、こちらっていうのは、
1:11:26	まず、今みたいに確認をまずしますとそれを、まずフォルダーとかまで、どこに対してこのデータをしまうのとか、そういうそのフォルダ自体の管理までもして、
1:11:39	結論は、
1:11:41	内容に対応してちゃんとその評価をするときにそのファイルを使うんで、同じものがちゃんと使えるということは別プロセスってことね。
1:11:51	ものは一つだけ個別プロセスで見てるってことで、それを竜巻は竜巻で見ると。
1:12:00	使うというけど、田崎横井様に考えなきゃいけない。
1:12:05	そこにありますとかっていうプロセスが書き込まれているってことです。はい。ていうのは、日本医師会、正直設計のプロセスの立て方、
1:12:17	よって細分化されてしまってるので、竜巻の設計、耐震の設計って分けてしまった瞬間に、それぞれが走り、ただ同じものを使うことは当然ありますけど、記録は全部別々に、
1:12:29	残ってってください。はい。最後の検証はそれで言って構わないと、できる話になったときに初めて評価最頻引っ張ってこないとなんか、依田キムラにフィギュアたくさんいるので操作例っていうか、
1:12:42	そういう話が早いんですけど、何か1回は新規もするんですけど、第2回、
1:12:48	埋まっています。はい。
1:12:51	はい。コサクです。今お聞きしたところだと、別プロセスっていうことなので、管理課もあんまり納得はされてないけど条文ごとの説明ということではしょうがないのかなと。
1:13:04	いうふうには思いましたが、
1:13:10	もともとその別メーカーだったり何なりでバラバラやってたのを類型にして統合するんだと、いうことをやられてますよね。はい。
1:13:19	ていうのと同じで、条文ごとやっていたとしても、やってることは一緒だと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:25	ということであれば、これを基に、何が一緒なのか何が違うのかと。
1:13:30	ということを見ていただいて、或いはプラスやってることということを見ていただいて、共通するところは、共通してますってということでこちらに説明いただくと。
1:13:40	ということで合理化が図れると思いますので、その点ちゃんと横串を取って対応いただければと思います。
1:13:49	入園者おっしゃっていただいている例えばですけど、入力条件で使うようなプロセスみたいなものが、当然みんな同じはずで、同じものを使う、使ってますよねっていう確認も当然、プロセスの中でやらなきゃいけない。
1:14:00	ということはそれを認識してる人間がちゃんとそれを集めて、それぞれがちゃんと同じものを見に行ってるんだっていうことをちゃんとし資料として示せるということが必要だと。
1:14:15	はい、規制庁管理です。国家对新規で27で、確認ありますか。
1:14:23	なければ次、
1:14:25	あとはもう耐震基準07と、建物01D耐震基準0菜の花Cをできればと思うんですが、
1:14:35	07はまだ代表のところはまだ今度っていう形になっていて、中途半端な状態で、
1:14:45	この中身をどうこうっていうわけじゃないんですけど、今後の進め方をどうしようかなっていう話がメインだと。
1:14:53	現状事業者の方から何か07について、
1:14:57	困りごとなり、話をしたいことがあります。
1:15:02	日本原燃星野です。
1:15:06	泊五藤はですね、
1:15:10	考え方をお示ししておるんですが、
1:15:17	中身の整理をする。
1:15:19	ちょっと時間、
1:15:20	避けなくて成長公務員でちなみに今何ページ見ながら話をして、はい。
1:15:28	7ページ。
1:15:30	さそうですね、11ページになります。
1:15:36	いいですか。はい。はい。11ページの方ですね。
1:15:40	あと、今回の資料では表の上の部分に、設計プロセスを残した形にして、この設計プロセスに、実際に該当する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:51	補足説明事項を下の方に、
1:15:54	当てはめております。これで設計プロセスと、補足説明資料の両方に該当するものを、
1:16:05	黒丸とか白丸とかで、選定していきたいなと思っています。で、冷却塔でいくと、今、書いてるような項目で、大半の項目が黒丸に埋まっておるんですが、
1:16:19	この中でバーになっているところですね、例えば左からでいくと、有限要素モデルのシェルモデルですとか、等、
1:16:31	真ん中ほどの設計用地震力のところであれば時刻歴応答は、のところですとか、そういったところは冷却塔で説明できない項目になりますので、こういったところの該当する、
1:16:45	設備を今後抽出して行って、次回の時に、個々の設備を、
1:16:52	選定した上で、代表設備を、
1:16:54	お示ししたいなというふうに考えております。
1:17:02	規制庁カミデです。この表の仕上がりって、
1:17:07	どういうイメージなんでしょう。縦軸って、前節。
1:17:12	はい。
1:17:12	縦軸には全身対象設備と、
1:17:17	並べる。
1:17:18	考えております。
1:17:20	はい。規制庁郡です。それって、
1:17:23	申請書の添付レベルだと累計だけど、補足だと、全体示すっていうことになるんですか。
1:17:32	申請書の設計プロセスの適用の星取表あるじゃないですか。あれ、あれも全設備ではないんですよ。
1:17:39	すごい。
1:17:40	そんな印象が別リストだけでもすげえ、さらにスギトつけてもしょうがないんですね。はい。
1:17:49	そこで、これを全部示す必要性があまり感じられないんで補足であっても全部なのかって感じはしますけどね。あとはその代表。
1:18:00	間瀬選んだものがどういう考えで選ばれたのか、それが全体の中でどの位置付けになるのかってところも、
1:18:07	どう、どう見せるかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:11	全部中眺めて並べたって結果それがわかんないだけで、いっぱい熱があったっけ、何のこのリストですかみたいな話になるのは見えるのね。そういう意味では見せ方をちょっと工夫させていただく必要あるか。
1:18:23	そこがまだちょっと固め切れてないところで、
1:18:27	全部乗っける方向に一泊走っているところが、
1:18:31	ちょっとまずいかっていう気がします。はい。
1:18:34	はい。成長ヶ月基本は累計ごとで、さらにその累計の中でもう0つ
1:18:41	マルつけが違うようなものがあれば幾つかっていうぐらいで全体示せるような感じがしますね。
1:18:50	はい。
1:18:52	あとは、
1:18:54	これが、
1:18:59	第2回申請分いつ入れますかっていう話なんですけど。
1:19:04	そんな状況ですか。
1:19:06	例えば要は、
1:19:08	等ですね。
1:19:10	規制庁カミデですけど、
1:19:12	今、
1:19:14	9ページだったりのところの代表のところっていうのは、今まだ手がついてません。
1:19:21	ですね。で、
1:19:23	これを舞台にやっていくためには、まずは11ページのところを第2回寸を見て、
1:19:32	じゃあどうしていこうっていう話になると思うので、
1:19:36	出発点のものを、
1:19:39	であるから、そんなにゆうちょに1月エンドですって言われても困るんですけど、何かどういう進め方とか、
1:19:49	日本原燃越田です。
1:19:53	あと正直に申し上げますと2回の申請対応。
1:19:59	うん。
1:20:00	終えた後にですね、1月の頭くらいまでに、ここを整理。
1:20:06	して、お示しできればなというふうに考えておったところです。
1:20:16	古作です。
1:20:18	現状は申請と同時に補足説明資料出せません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:22	マスキング作業もあってと言っていて、
1:20:26	今 00 資料わあ、5 日には出し、
1:20:32	いただいてそこで、補足説明資料の提出時期を提示いただくと。
1:20:38	いう話をしてますけどそれは、
1:20:41	聞いてます。
1:20:43	はい。日本原燃
1:20:45	はい。
1:20:47	それは、はい。
1:20:50	古作です。そのときに、この資料は、00 と合わせて出すつもりなのか。
1:20:58	その時にいつまでに出しますと言ってやるつもりなのか私。
1:21:04	日本元で欲しいのですか。
1:21:07	後者で考えておりました。
1:21:10	はい。補足です。そうするとじゃあいつですか。
1:21:17	乳井西原です。先ほど星さんの発言をまず、
1:21:20	これがいわゆる膨大に出てくる計算結果の添付書類の見方をどうしようかってところのきっかけになるんで、早めにないといけないという認識が彼もあって、うん。うん。そういう意味では、00 と同時じゃないにしても少なくとも速水出そうと。
1:21:35	いう意思はありますと、それであれば全体のスケジュールを見た上で、事務局側も含めてけ、決めて、
1:21:43	5 日の週なのか、その次なのかも含めてちょっとタイミングを考えてスケジュールに落として、出すときにはお示しをしたいと。
1:21:51	はい。補足です。なので、5 日には 5 日っていうのを明確に出していただくということで、おそらく気持ちは中の種、
1:22:01	だけど大丈夫かっていうのがちょっと今不安だと。
1:22:04	いうふうに受け取りました。
1:22:07	はい。規制庁、五味です。
1:22:11	頭の整理ができてないと申請書もつukれないんじゃないかなっていう気がするんですが。
1:22:18	それはそれとしてで、
1:22:21	今の話し切れればいいんですけど、
1:22:23	建物、
1:22:24	脅すすいません。
1:22:27	どうですか、六ヶ所とてもある方。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:30	介護保険の大瀬でございます。現在この期限0 奈良のところににつきまして我々としても同じような形で整理を進めておりまして、私今こちらで画面に映ってさっき
1:22:42	映ってました 11 ページにあるような表のところでは各プロセスに対して、こういった補足説明がこのプロセスに対しては我々としての設計判断の根拠として出てきて、粗度の建屋で説明するかっていうところ。
1:22:55	整理をしているところでございます。その整理の結果では見込みとしましては結局のところ耐震化というものを 01 のところでこれまでご説明しております通り、各補足説明に対しては、
1:23:06	第 1 回でご説明しております燃料加工建屋こちらがほぼほぼ代表できるというようなところになってございますので、そういった意味では今起点側の方で 7 になっておりますこの前の方のページ、
1:23:18	所代表性の考え方というところはあまり悩まずにいけるかと思っておりますので、すいません現在追いつくように頑張っているところでございますが、同じぐらいの日程で次お出しできるように動いていきたいと考えているところです。以上です。
1:23:32	はい。規制庁上出です。足並みそろえてっていうところはわかったんですけど、
1:23:37	01 みたいな話がされて、ちょっとあれだったんですけど今このき然 07 の 11 ページは、各設計プロセスの適用の、
1:23:46	星取表っていうことで作ってもらってるんですけどそういうものを、建物側でも、見せてもらえるっていうことでいいんですよ。
1:23:56	そしたら、
1:23:59	日本原燃の長谷でございますそういった意味でいきますと今作りながらもちょっとこの表の意味とか確認しながらやっているところなんですけれども、建物構築物としての設計プロセスというところでは、
1:24:11	今回先日補正申請をしました中でも建物構築物の設計プロセスというところでフローのような形でお示ししているものなんですけれども、それというのは特にどの施設ではこのプロセスがなくて、もしくは分岐してというものはなくて、どの建物構築物でも、
1:24:28	同じプロセスをたどるといものになりますので、こういうふうは何ていうんすかね、ホシトリでこうか抜けが提案によって出てくるというものはないというふうに考えております。あくまで出てくるような差分というものはこのぶら下がるような補足説明資料として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:42	例えば根井がお金を考慮してる場合はばねの設定方法が、危ないとかそういうところが出てくるものになりますのでその辺は見分けがつくようにはなるかと思えますので今のこの記念3事例の方で作っているものとは、
1:24:55	大体とんとれたものにはなるかなというふうにはちょっと認識はしているところでした。
1:25:01	以上です。規制庁カミデです。要は、設計プロセスに枝葉はなくて、おっきな幹で説明できるんで大丈夫ですってということなんだと思えますけど。
1:25:11	本当かなと思えますので、なんかよく自分のどちらにしても今、
1:25:17	第2回に向けての、建物の設計プロセスというのが書いていると思うんですよ。で、
1:25:23	それ見てもらってあれやっぱり誰だと思ったらこれ作んなきゃいけないしってということだと認識してください。大丈夫です。
1:25:31	日本原燃の加瀬でございますはい、かしこまりました今、それこそ第2回に向けての申請書のほうを準備するにあたって、やはり当然計算書の中で差分とかみたいに出てくるようなものがある場合もありえますのでそういったところをきちんとつぶさに拾った上で、そういう枝葉がきちんと何かある場合は、
1:25:49	きちんとその差分が差分というかこの1人がわかるようにというところを心がけて整理の方進めていきます。以上です。
1:25:58	はい。規制庁カミデです。
1:26:00	わかりました。
1:26:01	あとは1月10の週にっていう感じですけどその時に今9、9ページで、
1:26:08	またポンドって言うのは外れ、
1:26:12	言うのか、もしくは、
1:26:14	どんな状況でいきますかね。
1:26:18	まだそこまでは、
1:26:20	代表云々っていうところまではいかないんですか。
1:26:27	外さないと、ちょっと九州支社で、
1:26:32	日本原燃星野です。1月10日の週にお示しする際に、この9ページのところも、検討したもので出ささせていただきたいと思えますが、
1:26:43	ちょっと一応、
1:26:45	他の資料との兼ね合いもあるので、ちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:50	状況で間に合うんだそうであればまたちょっと、
1:26:53	相談させていただければと思います。
1:26:59	規制庁深見です生煮えの状態であっても、何かこれほどもまたポンドではなくてですねある程度形が見えた話ができるようなレベルルー感からでも、
1:27:10	それぐらいのレベルになってれば話が進められるんで、今の状態だと。
1:27:15	何も話をする気になれないような資料ですから、
1:27:19	取り上げてもらえば、
1:27:21	ます。
1:27:23	はい。日本原燃越野です。はい。少なくとも議論ができるように、
1:27:28	内容を検討して反映したいと思います。以上です。
1:27:34	はい。規制庁、鳥居です。他記念 07 について、規制庁側から何かありますか。
1:27:45	すいません。
1:27:46	一つよろしいですか。
1:27:48	日本原燃の首藤ですけども。
1:27:50	今、2 回の申請書の中で、設計プロセスの表なんですけども、
1:27:57	正直に言いますとね、現状全設備は、
1:28:00	並べた形で作成をしておったんですが、先ほどの話を踏まえてですね、左端に示す、その項目は、累計の単位で、
1:28:15	縦軸がきっこう、
1:28:17	凝縮した形の表にして出させていたきたいなと思うんですけどそこ認識はそれで、
1:28:24	よろしかったでしょうか。
1:28:26	規制庁上出です。
1:28:29	申請書をどう作るのかはどうぞ、渡瀬丹治ですけど
1:28:35	欠カー。
1:28:36	ズラーってついてる方は見にくいだらうなど。
1:28:40	思いますで大事なのは、何でそのフォーマットにしたのかっていうところで、形だけっていう、こういう目的のための表だから、この情報量でいいんだと。
1:28:51	いうところをちゃんと説明できるようにしておいてください。
1:28:54	はい。日本原燃星野です。承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:58	はい、規制庁カミデですあと1点だけ、伴しょうもないことですけど、11ページの、
1:29:04	例えば、(2)、
1:29:07	3.1%井関モデルの設定と、
1:29:10	その下に拘束条件があって、固定式で機器と配管の相対変位の設計上の扱ってという補足がぶら下がってますってことなんですけど、それがぶら下がるべきや応力評価の、
1:29:22	方なので、場所違ってますと。
1:29:25	ということなんですけど精査しといて、
1:29:29	もうモデル作るときに、相対変化ですか。
1:29:34	毎年も荷重のところがあったポスト小非常に、
1:29:38	いますから、はい。よろしく。
1:29:41	三好です。承知しました。
1:29:46	はい。規制庁亀井です。で、他なければ次耐震建物01なんですけど、
1:29:53	これを、
1:29:57	安心建物。
1:30:00	01は、
1:30:04	受診されたページが何ページでしょうか、33ページぐらい。
1:30:11	35ページですね。はい。
1:30:14	35ページだけ何か新しくなってるっていう状況ですけど。
1:30:18	ステータ数等も含めて何か説明することがあれば、
1:30:23	はい。日本原燃募集ですね、こちらの方は耐震記念
1:30:28	07の方のホームの変更を展開した形で、記載内容を見直したのになっております。
1:30:38	普段、従来から何か変えたということではありませんので、
1:30:43	特段、
1:30:45	説明することはない。
1:30:47	ものになってます。以上です。
1:30:51	はい。規制庁カミデです。
1:30:56	まずあれですね、
1:30:59	建物がもまだ更新されてはないですが、これもさっきの07と同じで、最初に、
1:31:08	これを見ないと、申請書なかなか進められないっていう資料なんですけど、07と同じように、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:16	これ、頭に出てくると思っていていいですか、貴殿、
1:31:20	館野様。
1:31:22	はい。日本原燃保障違うか。
1:31:28	日本原燃星野です。木部の方はもちろん耐震基準 07 と、
1:31:35	同時に反映したものをお出ししたいと。
1:31:38	場所、建物側の方お願いします。はい。
1:31:42	はい。日本原燃の赤瀬でございます先ほど上出さんおっしゃってありました通り耐震基準 072、同じような資料を我々建物構築物側も作っておりますのでそれとこの何て言うか横軸の構成とかが、
1:31:55	同じような形になるものでもございますのでそちらと連動する形で現在作業の方を進めてございますので 01 と 07 の連動で作業の方、作業ないし提出の方は進めていく予定でございます。以上です。
1:32:08	乳井西田です。多分、こういう時にあれですね。
1:32:11	内野湯浅がいるの。
1:32:13	バラバラに答えるっていう
1:32:15	これは絶対コミットする人がいないっていうのが、多分最後決定。
1:32:19	あと体制も考えないと。
1:32:21	だからバラバラでして、
1:32:25	ちょっと体制含めてやり方ちゃんと考えて、
1:32:29	同じクオリティーのもの、あるべき姿を出せるようにさせていただく。
1:32:36	はい。規制庁深見です。あと、耐震建物 01 って、大、これ、上流の資料で大事だって話何回も言ってるんですけど、
1:32:45	第 1 回の時って結構手が遅くて、修正が
1:32:50	大丈夫かなと思ってるんですけどこの表だけじゃなくて全般として、もうす同意が進んでいるのかというのちょっと不安なんですけど。
1:33:00	今どんな感じですか。
1:33:02	というか、頑張ってもらいたいなと思ってるんですけど、いかがでしょうか。
1:33:11	はい。すいません。
1:33:16	ご指摘に対してこれ耐震全般の話なので、当初申請というのは最初から出させていただくと、今のところの通りで、特に重要だと思っておりますが、評価部位の網羅性っていうところで、
1:33:29	この設備のこの評価なりますよっていうところがちょっと提案していきますんで、そこについてもです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:42	はい。
1:33:43	規制庁、川満わかりました。何かその話が聞ければ今日は私はもうそれぐらいでいいかなって感じは。
1:33:49	が、あと何か具体の話をしすると、
1:33:59	規制庁、狩野伴新しくしてもらっていて、黒丸まれさんでしたっけ。
1:34:07	前も言いましたけど、書類としてどうなんだっていう目線で分けてもらったので、判例のイメージは合ってますからこれに従って、
1:34:17	まだ丸付けはまだ中途半端感があるんで、そこは次の時のブラッシュアップしても、グレーのハッチングも取れるでしょうから、
1:34:29	聞いておいてください。
1:34:32	例えば後はこの凡例の通りの補足説明になってるかっていうのをちゃんと見といて欲しくて、
1:34:40	例えば耐震記念0 サンナンと右の方にありますけど、
1:34:45	一番右側の、
1:34:47	IC設計における考慮事項の中の左側ですけど、三泊がいるので、この三角っていうのは別紙に追加事項を示す代表設備ですと、
1:34:59	ということなんですけど今耐震記念03、石井があるような構成じゃなくて、
1:35:04	何か添付って言っていったりですね。
1:35:07	いうところで、基本的には本文で紙っていうふうになるように耐震ずつと話はしてきているものの、バタバタとやっている中で、ちょっとイレギュラー整理をしてる。
1:35:20	あるんでそれは綺麗にしていって、
1:35:24	本来あるべき書類構成。
1:35:27	に直してもらいつつってことだと思いますので、そのあたり
1:35:32	第2回出すタイミングで、綺麗になってればいいなと思いますから、その辺りも忘れずに対応していただきたいと思います。
1:35:47	はい。日本原燃吉田です。承知いたしました。
1:35:51	はい。規制庁亀井です。あと、あんまり、
1:35:55	グレーのところのお話を、
1:35:56	聞いてもしょうがないんですけど。
1:35:58	例えば耐震機で29なんかは、
1:36:04	クロマルが、
1:36:06	冷却塔と支持間隔のところは、黒丸があってそれ以外は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:11	下見に行くと、資格ってなってて、資格は補足説明も出しませんと言ってるんですけど、
1:36:19	ほかにコードがないだったら別にいいんですけど、多分、
1:36:24	それ以外の計算方法を使ってるでしょうから、
1:36:28	当然、資格にはならないとは思ってますただ、
1:36:34	現状今そこまでちゃんと丁寧に丸付けをしてると思ってないので、けしからんとかっていう話にならないんで、ちゃんと整理したもので、
1:36:44	お出してください。
1:36:47	ちなみに、と思ってますけど、実は
1:36:51	かなりの精度で今はもうグレーの部分を丸付けして、してきたんですけど、
1:36:58	どんな状況ですか。
1:37:00	日本原電、星野です。
1:37:04	提出にあたって検討はもちろんした、したかと思うんですが、ご指摘いただいたところは確かにありますし、少し補足すると、精度がどうなんだっていうところに対しては、
1:37:16	建物側と意見があって、ちょっと整合をとりながらやってるところがありますと、建物については年明け出しますというところでいくと、じゃあ今の制度は、監査完璧かっていうとやっぱりそこはちょっと弱いところがある規定の中でだけ、
1:37:30	これでいきたいという気持ちがまだ入ってると思いますので、そういう意味では、程度は若干落ちると考えております。以上です。
1:37:38	はい。規制庁菅です。なのでその辺はまた改めて、
1:37:42	したいと思います。
1:37:43	と 01 について私の方は以上ですけど他規制庁わかります。
1:37:48	規制庁浜崎です。事実確認なんですけども、33 ページのですね、
1:37:55	表も、
1:37:56	の制度がかかっているところですね、そのスケルトンカーブの設定ってあるんですけども、
1:38:04	このスケートカーブっていうのは、
1:38:07	いわゆるその建物系のスケルトンなのか、基礎浮上がりなのか或いは両方なのか。
1:38:13	ちょっと事実関係を説明してもらいたいんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:18	はい。日本原燃の加瀬でございます。一応すみません確認です今ハバサキさんおっしゃったのは、この黄色い行で、横軸のDぼつスケルトンカーブの設定を、耐震建物9のところのお話というところによろしかったでしょうか。和気です。はい。
1:38:34	わかりました。Aに日本原燃をまず耐震建物9で述べられている部分といますのは、建物のコンクリート耐震駅のいわゆる佐野れ、3、第1第2折点という第2折点というようなところの、いわゆるRCのスケルトンカーブの説明について書いているものでございます。以上です。
1:38:54	はい。知久さんは、そうすると、栄養ピーキー所のところに黒丸があるんですがこれは僕、
1:39:01	いいですか。
1:39:05	日本原燃の大橋でございます。申し訳ございません数でははい誤記です申し訳ありません、こちらの適正化にももちろんいたしますし先日いただいたご指摘の中で、ちょうど黒丸が各補足の中で一つになるはずだということもありますので、そういったところを含めての修正として対応させていただきます。以上です。
1:39:22	はい、宮崎です基調2、スケートカーブのありえないんで、見る人が見てればすぐわかると思います。ちょっと今後、しっかりと確認をお願いします。以上です。
1:39:40	はい。規制庁、上出です。岡規制庁側からちょっとありますか。
1:39:46	中屋。一旦振り返っていただいて、
1:39:51	感じですか。
1:39:54	日本原燃越野です。まず、耐震基準27の方ですけども、
1:40:02	計算書に関する基本方針のところでの確認事項と、計算書の作成の基本方針の
1:40:09	ところで各確認項目ですが、
1:40:13	どこにどういった確認を書くかっていうことを再整理した上で、基本、
1:40:20	上流側に書くべきものと、下流側に書くべきものを、再整理して、資料を、
1:40:26	もう一度作成したい。
1:40:30	あと作成の際には具体的にどういった図書と、どういった資料を確認する。
1:40:39	いった点についても、具体的に
1:40:42	確認を書いた上で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:45	お示ししたいと思います。あとこの作成にあたって竜巻側も同様の資料がありますので、耐震側との横並びがとれるように社内で調整して作成して参りたいと思います。
1:41:00	あと耐震記念で 07 の方ですが、
1:41:08	今縦軸の方ですね、機器を全部並び立てるようには考えておったんですけども、
1:41:15	そこをですね、ちょっと例経過を踏まえた、示し方を
1:41:20	整理した上で、この資料でこういった形で示していくかということ整理したいと思います。あと、これ、期限側だけではなくて都道県側の資料、
1:41:33	もを作成した上で、この中で添付していきたいというふうに考えて、
1:41:40	あと関連する耐震建物 01 の方ですが、こちらの方も 07 と同じように、記載の内容を見直していくのと、
1:41:50	あと全般的に載せ網羅性に対して説明する内容ですね、次回に向けて説明しなければいけない内容、特に評価部位といったところですね、そういったところの内容の拡充をしていきたいと思います。
1:42:03	藤桐原の方の表内の、ちょっとグレーハッチングがかかっているところの判例ですね、ちょっと
1:42:12	精査した上で、もう一度この内容を
1:42:15	きちんとした形にして次回出すときはグレーハッチングを外した形で提出したいと思います。
1:42:25	提出スケジュールの方まで行っていいですか。はい。
1:42:32	耐震基準 07 と耐震建物 01 の方は、
1:42:36	1 月 10 日の週を
1:42:41	目標に提出したいと考えております。
1:42:47	田井新生前、7、
1:42:51	ですが、
1:42:58	じゃ駄目だ。
1:43:01	そうですね。
1:43:03	27 の方は、来週も、
1:43:07	水曜か目標ぐらい。
1:43:09	かなと思うんですが、
1:43:15	大丈夫。
1:43:16	直感ですけど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:20	使ってというわけでもない、全体としてプロセスをどう示していくかっていう
1:43:27	それなりの時間でいいですよ。
1:43:32	うん。1回の中身。
1:43:39	そうですねでは
1:43:43	そういう新規連続7、あと、同様の時期に提出させていただければと思います。でも構わないんですけど、
1:43:55	以上です。
1:43:57	ちゃんと3中27は本当は、
1:44:00	年を跨ぐと、冷却塔だけじゃなくて、
1:44:04	全部、
1:44:05	ですけど、全部の場に出てくる
1:44:08	イメージですかそれとも一旦、
1:44:10	区長として、まずはまとめた上であとはおって、全部、
1:44:15	のは、1ヶ月後ぐらい全部出しますんで、そんな感じですか。
1:44:19	今日大体話が見えたはずなので、一旦フォーマットの確認をして、そういうシステムですか。
1:44:26	表現で欲しい。
1:44:30	ごめんなさい、古作ですけど、
1:44:33	第1回の申請に対する審査書類として、
1:44:39	今日の段階でクローズをさせて、
1:44:43	いただく必要があって、
1:44:45	認可も欲しくないならクローズしませんけど、
1:44:51	はい。クローズですよ。はい。
1:44:54	で、
1:44:54	ということですので、嶋田井だものは第2回での補足説明資料と、
1:45:01	ということになります。
1:45:05	その上で、この程度の資料。
1:45:09	てっていうことで、
1:45:11	の位置付けだけは間違いないようにしてく。
1:45:17	星野さんのは理解してないみたいだけど、はい。
1:45:23	のパーツをつけると含めて第2回の方だということで認識した上で、この後この資料どう。
1:45:29	拡充していくかのストーリーをつけて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:32	そうですね出させていただきます。はい。こちら辺にその言い訳ぐらいから書いてある。
1:45:40	はい、規制庁神戸です。あとスケジュールでいうと、今個別のスケジュールは言われましたけど、今後前の話をして、
1:45:49	第二課猪瀬、
1:45:51	進め方のスケジュールありつぐらいもらえるんですか。
1:45:58	ね。
1:46:00	あれがそもそも全体像がないので、
1:46:08	そうですね、去年の藤江と第2回のスケジュール今
1:46:14	共通05から出てくる細く並べ立てて後、昨日、一昨日あった、
1:46:20	説明の順番とかですね少し考え始めてるので
1:46:25	1月、いつかー。
1:46:28	他
1:46:30	を、岡ですかねそれぞれシリーズ出すタイミングにちょっと出せるように、
1:46:36	準備は進めたいというふうに今考えておりました。
1:46:41	規制庁間ベース、随分遅いなっていう感覚ですね。
1:46:46	何かでしかも全部そこを全部並べたとかスケジュールが必要かっていうと今そんな段階でもなくて、この間本当塗り絵が出てきて、そのあと補足全部買って何か真ん中の、
1:46:58	中間生成物を1回何か話をした方がいいような気がしますけど。
1:47:03	入園者ですちょっと六ヶ所戻って、関係者できるもします
1:47:09	やりたかったのは、おっしゃっていただいて、どういうステップで、何を説明していくのかっていう全体像がまずないと、スケジュールも書けないですし、そもそもそれが、
1:47:19	全然違っていたら、スケジュールを作った意味がないものになるので、前回の会談の塗り絵みたいな訳わからんじゃなくて実をとれるような部分をちゃんと作ってまずそれを、
1:47:29	年内には出させていただきますかんとあかんのかなと。その上で、1月の頭に細かいスケジュール、それに沿ってスケジュールを出させていただきますというのが、本来あるべきつかさだだと思いますので、この六ヶ所を取って関係者とちょっと調整します。はい。
1:47:44	はい。規制庁神戸ですよろしく申し上げます。今のところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:49	この間の話だと耐震だとまず地盤モデルの話が大きいので早くやりたいとは言いつつですね。
1:47:55	多分記念の方々がそれをずっと後ろで待ってるわけにもいかないでしょうから、並行してこういう話は、枠のスタートのところにして、
1:48:05	行きたいっていうのはあるでしょうから何本か線が引かれる。
1:48:10	その辺早目に提示いただかないとこちらの体制とかもちょっとあるので、
1:48:18	そういうものを見せてもらえればと思います。
1:48:23	あと、規制庁カミデですけど今日の振り返りとして、大事なのはあのわかんわかったつもりで、作業始めたけどわかんなくなったら聞きましょうねっていうのが多分一番大事で、
1:48:33	それをさぼってしまうと、随分時間がたっていう、
1:48:38	思いますからその辺は、まずない。
1:48:41	お願いします。
1:48:44	他、規制庁側から全体通じてありますか。
1:48:50	じゃ、特になければこれで終わりたいと思います、お疲れ様です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。